

# 斜面のひずみ監視システム 施工事例

## ■ 概要

平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震により発生した大規模地滑りの対策工事現場のひとつであり、現在は 緑地工事・盛土工事・道路改修工事などが行われているなか、本システムは、重機などに携わる作業者の安全を監視する目的で設置された。



## ■ 設置

「ひずみセンサー」は、設置手間がかからないのが特徴

軽量で30kg外、運搬も容易であるため、作業員が1人で設置を行った（土質による）

- ・急斜面に設置が可能
- ・ボーリング不要人力で貫入



センサー設置中

現場は、土質がやわらかく、スルスルと貫入できた

- ・センサーは再利用可能
- ・工事の移動に伴いセンサーを抜いて再設置できる

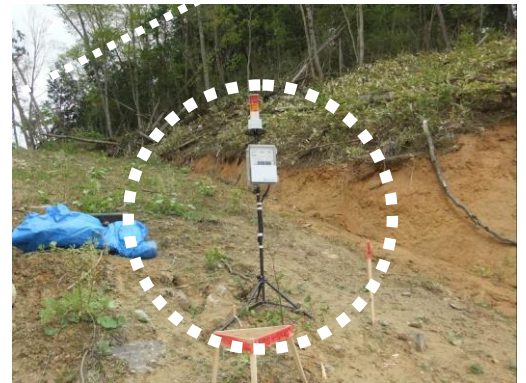


## ■ 対策

ひずみセンサー（4チャンネル接続可能）を設置し、監視装置に接続

作業中でも認識できる少し高い位置に配置し、現場監督・作業員に〈赤・黄色信号〉を意識して作業にあたってもらう

検出したデータは、パソコンに接続してリアルタイムでモニタリング 作業終了後は測定した1日分のデータを確認することが可能



監視装置の配置

本システムは、[ 監視装置＋ひずみセンサー＋モニタリングソフト ]で構成されています。地中に設置した「ひずみセンサー」がひずみ値を取得し、斜面工事中における斜面の不安定化や崩壊危険性を計測監視します。測定値があらかじめ設定した値を超えた場合には、警報で作業員に知らせることができます。

建設工事現場での安全対策や法面の崩壊調査に！土砂災害危険箇所での調査に！  
～「動いているか」「止まっているか」の判定に～